

【川崎市市制100周年記念事業】 第45回かわさき市民祭りを開催しました

12月7日（土）・8日（日）に45回目となるかわさき市民祭りを、今年10月にリニューアルした富士見公園にて開催しました。当日は天気にも恵まれ、2日間で約45万人の来場者に楽しんでいただきました。

今年度の市民祭りは、今秋と来春に開催の全国都市緑化かわさきフェアの間をつなぐため、冬に初開催。冬ならではのカーリングや雪遊び体験のほか、開催時間を19時まで延長し、フォトスポットのイルミネーションや市にゆかりのある特別ゲストによるパフォーマンスを実施するなど、市制100周年を記念する特別企画を盛り込むことにより、例年以上に内容を充実させた市民祭りとなりました。

また、市民の皆様からお預かりした能登半島地震被災者への寄附金を活用して奥能登4市町の事業者を招待させていただき、当日も市民の皆様にも奥能登支援ブースで特産品をお買い上げいただくなど、心温まる応援をいただきました。

実施概要

1 開催日時

令和6年12月7日（土）・8日（日）
午前10時から午後7時まで

2 会場

川崎区富士見公園一帯

3 主催

川崎市、第45回かわさき市民祭り実行委員会

4 内容

（1） バザール・キャンペーンの実施

175のテントが立ち並び、市内事業者による飲食・物販のキャンペーンのほか、全国各地の自治体によるふるさと物産展を実施しました。

（2） 舞台等によるパフォーマンスの実施

市民等からなる72団体が参加し、ステージパフォーマンスを実施しました。

（3） 共催イベントの実施

市内の28団体と協力し、スポーツ体験やゲームなど、来場者が気軽に参加できる催しを実施しました。

（4） 周辺商業施設等との連携

川崎駅周辺の商業施設・商店街と連携したにぎわい創出や、同時期に開催されるイベント団体等と連携した広報やデジタルスタンプラリーを実施しました。

（5） 市制100周年特別企画

別紙のとおり



にぎわう奥能登支援ゾーン

※かわさき市民祭りホームページ

第45回かわさき市民祭り (kawasaki-fest.main.jp)



【問合せ先】

川崎市経済労働局 観光・地域活力推進部
地域活性化担当 細井
電話 044-200-0508

第45回かわさき市民祭り 市制100周年特別企画について

食

かわさきフードゾーン

川崎市で実施している食の事業「かわさきアジアンフェスタ」「かわさき推しメシ」の参加者が4店が出店。



食

奥能登支援ゾーン

令和6年能登半島地震で被災された皆様を支援する寄附金を活用して、珠洲市、能登町、輪島市、穴水町を招待。出店及びステージが実現。



イベント

HADO体験 237名が参加

スポーツとゲームが融合した次世代のARスポーツ「HADO」。現実世界にARの立体画像が浮かび上がり、自らの手でエネルギーボールを放つ最先端スポーツを多くの来場者が体験。



装飾

冬

夜

フォトスポット

全国都市緑化かわさきフェアとの連動を意識し、市民祭り会場内にみどりのフォトスポットを設置。

夜は冬を想起させるイルミネーションで飾り立て、2面性のある演出を実施。



冬

カーリング体験 918名が参加

ウィンタースポーツの1つであるカーリングを誰もが楽しめる体験イベントにアレンジ。

小さな子どもから大人までたくさんの方が楽しみました。



冬

雪遊び体験 787名が参加

冬ならではの取組として、都心では触れる機会が少ない「雪」を降らせました。小さな子どもを中心ににぎやかな声が広がりました。



夜

市にゆかりのある団体等によるパフォーマンス

ブレイキンやヒップホップダンス、ダブルダッチといった若者に人気のあるステージパフォーマンスを実施。



夜

ナイトタイムwithかわさきジャズ

2団体によりステージが、JAZZミュージック流れる大人の空間を演出。

